



豊田PCB廃棄物処理 事業だより(No.124)

1. 豊田事業部会について

7月4日(金)に、平成26年度第1回「ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会豊田事業部会」(委員：学識経験者4名)を開催しました。

今回の部会では、処理の進捗状況報告の他、豊田事業所の漏洩防止対策の強化を図るため、KY(危険予知)活動やHHK(ヒヤリハット気がかり)活動の改善に係る取組状況を報告しました。また、今年6月に国の「PCB廃棄物処理基本計画」の変更が告示され、それを受けてJESCOの「PCB廃棄物処理事業基本計画」の変更が認可されたので、その概要を報告しました。



2. PCB廃棄物保管事業者(少量)の皆さまに対する説明会について



豊田PCB廃棄物処理施設では少量保管事業者(保管台数が20台未満の事業者)の皆さまにPCB処理に関する説明会を定期的に行っています。7月は17日に愛知県西三河、18日には東三河で少量保管事業者を対象に説明会を開催し、合わせて67社の事業者の方々にご出席いただきました。

さまざまな規模で保管されているPCB廃棄物の処理を着実に推進するため、今後も定期的に少量保管事業者の皆さまに向けた説明会を開催していきます。

3. 毎月21日は安全の日

平成19年2月21日から毎月21日を『安全の日』として、始業前に安全集会を実施しています。その後、施設内の安全を確認するためにパトロールしています。この『安全の日』の目的は過去の事故・トラブルを忘れずに、常に安全に操業し、事故等の再発を防止するためです。

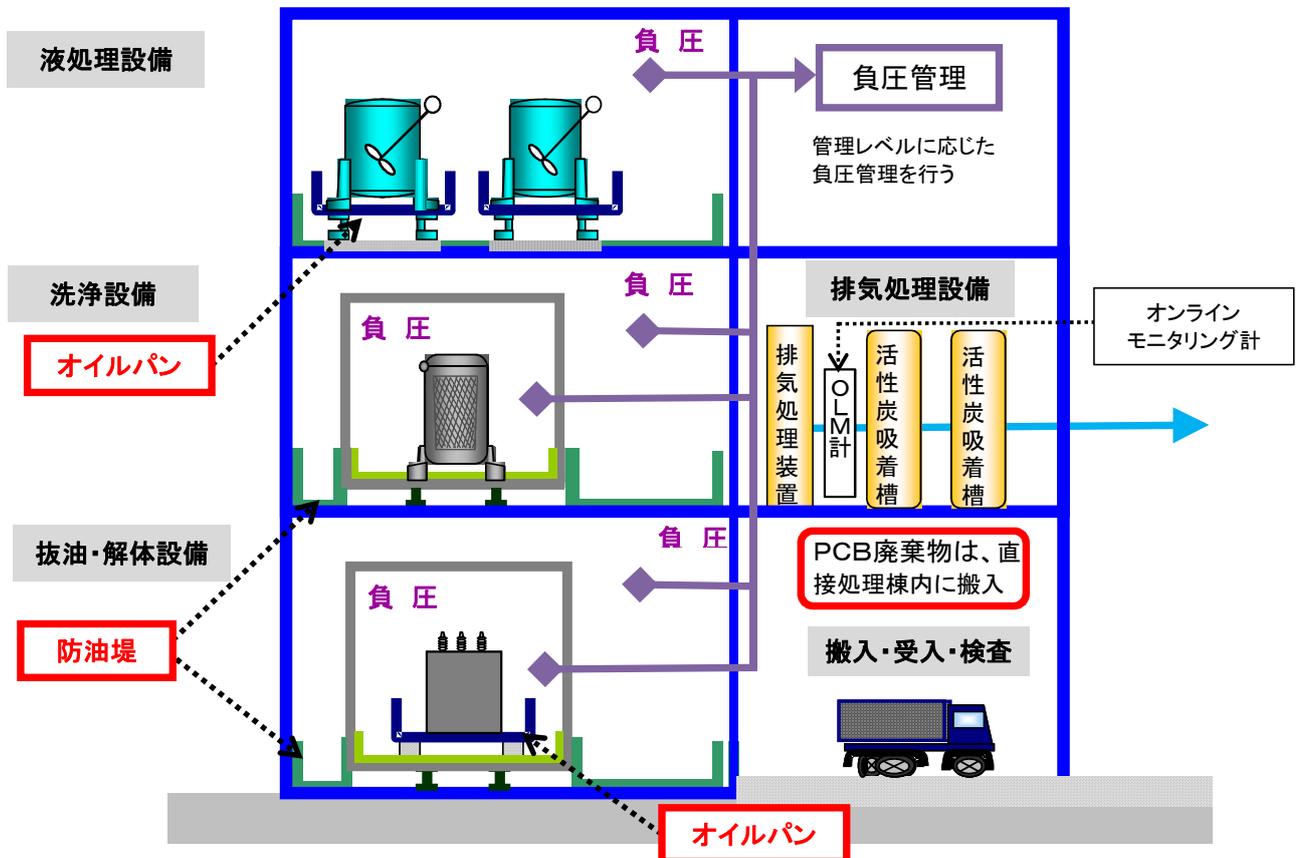
7月は施設屋上を中心にパトロールしました。



PCB処理事業紹介シリーズ 第7回

今回は豊田PCB廃棄物処理施設が周辺地域の環境に影響を及ぼさないためのセーフティネット機能についてご紹介します。

PCB油等の流出防止と排気処理の両面から、PCBが施設外に漏洩することを厳重に防ぐ設計になっています。



オイルパン・不浸透性床・防油堤の設置

各機器の下には漏洩防止のためのオイルパンを設けています。またPCB取扱区域内の床面をステンレス、又は不浸透性のエポキシ樹脂を多重に塗布した構造にしています。

そして各フロア外周部には防油堤を設け、多重の漏洩防止対策を行っています。



負圧によるPCB管理

PCBを取り扱う管理エリア内の気圧は大気圧より低くなるようにしており、管理レベルの低い方(PCBによる汚れの少ない方)から高い方(汚れの多い方)へ空気が流れるように管理しています。

これは管理レベルの違うエリアの間を作業者が移動したり、廃棄物を移動させるときなどに空気中に含まれるPCBが逆流するのを防止するためで、PCBによる汚染場所を広げない工夫です。

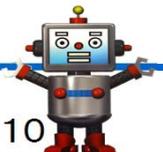


アザランのピーちゃん

問い合わせ先

日本環境安全事業株式会社(JESCO) 豊田事業所 0565-25-3110

【豊田事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>



デジ丸